

平成 28 年 10 月 11 日

意見発表

鈴木委員

私からも 4 点お話ししたいと思います。

一つは、フラワーセンター大船植物園についてですが、質疑の中でも申し上げましたが、基本的に、もう一度マーケティングという観点をしっかり入れた形で、どのようにすれば集客ができるのかということについて、しっかりとしたマーケティングをすべきである。農政課長からは、具体的にアンケート等もやっているというお話しでしたが、逆に、そこに来ていない人はなぜ来ないのか。こういう観点のアンケート等を、来ない人からはアンケートはとれないのですけれども、それに向けてのマーケティングとして、どのようにやるのかという戦略がなければ、指定管理になればなるほど、余計これまた逆に大変だろうと思う。これを入れていただきたい。

二つ目には、あわせて広報戦略としてツイッター等々でも、と出ていましたけれども、フェイスブック等々、それがなぜ拡散していかないのか。なかなかすばらしい内容も出ている、こういう形での広報戦略、マーケティング戦略の次には広報戦略をどのような形で持っていくのかということについて、よく吟味をしていただきたい。

あわせて温室の問題ですけれども、農政課長から、一般の方、企業の方とお話ししたところが、具体的にこれだけ多くのものを取り扱うことはいかかなものか、というような結論があったというお話しでございます。だからといって、ツイッター等々では多くの温室の植物等をとり上げているわけで、これを無くした時に、どういうことなのかと、これはあまりに論理的に飛躍していないかというものがありますので、例えば、中を絞るとかというようなものもあってもいいのかなと。そういう観点もまた、見ていただければと存じます。

最後に、農政課長にも御質問申し上げたけれども、無料で入っていらっしゃる、要は教育として入っていらっしゃる方々のカウントというのは余りなされていないようであるならば、これはまた違う観点です。教育という観点ではそれなりに多くの方が入っていらっしゃるのならば、これはやはり絶対にカウントして、これだけの県民の人に要望があるという違う見方があっていいのです。以上、マーケティング、そして広報、そして三つ目には花育とも言ったらいいのか、教育、この 3 点について、もう一度お願いをしたいと思います。

二つ目には、かながわ農業活性化指針についてですが、私も申し上げ、農政課長からも御答弁がありました。ICTという言葉が県庁の中でやたら使われるけれども、その情報をどのような形でつくるのかというのは、いまだどこでも見たことがない。だけれど、こういうものにどんどん ICT と出てくるけれども、具体的にどんなことをやるのか、県民にきちんと見えるものを出していただきたい。

あわせて、ロボットと書いてありますけれども、ロボットについても、例えば、腰を楽にするロボットとかいろいろ出ていても、それをなかなか民間に広

まっていかない状況下をどうするのかという見える化を、しっかりしていただきたいというのが2点目でございます。

3点目は、ニホンジカとサル。これについては私も申し上げましたが、ドローンの活用等々で、もう一度どのような生育状況なのか、サルについてもシカについてもできるはずだろうと思います。私は北海道のお話を申し上げました。愛知大学に行ってそういう状況もお聞きしました。やはり神奈川県としても最先端の、またある意味では、ひょっとしてここにクマが出てくると、命に関わるような問題で、これは、予算を積んだけれども、こういうようなことだということを出さないと、県民が納得しない時代が段々と来るのではないかなど。これだけの予算をかけていながらどうなのですかという時代が来ますよと。それに対して民間では、いろいろなドローンの活用等々やっている中で、県庁としてはどのような対応をするのかといったところを今後見てまいりたいと思いますので、よろしく願い申し上げたいと思います。

あわせて、神奈川県災害廃棄物処理、これについてはお話し申し上げましたが、し尿処理というのは絶対大変な問題になるはずですから、市町村と連携をしっかりとった形で、内容をより具体的にしていきたい。逆に私は、し尿処理問題とかを明らかにすればするほど、県民の方々が、これではいけないのだという啓蒙活動になるのかなど思っておりますので、行政がこんなことをやるだけではなくて、具体的には、例えば簡易トイレだって足りないわけで、それに対して民間がどうするかというふうな提起が、私あってもいいのではないかと思います。こういったことを見ていただきたいというのが、災害廃棄物処理についてです。

あとは、地球温暖化の件については、マイエコ10宣言は、要らぬお世話だというものもいっぱいあるし、家電部門に30何%も削減すると書いてあるにしては、申し訳ないですが、あまりに内容が少な過ぎませんか。エコ10をやっているれば、じゃ、はい、などというように形で減るものではないでしょう。そのところに気を付けていただきたいと思います。

最後ですが、質疑はやっていませんでしたけれども一つ要望として言っておきたいのが、水源間調整。どちらかという総務政策の問題かもしれませんが、ちょっと拝見させていただいて、もっともっと見える化というのをしないといけないのではないかと。何億ものお金をつぎ込んで、将来はこういうような形でなるけれども、それが今どこに来ているのか、というふうなものをやらないと、そろそろ3期目になっていて、これだけの多額のお金が出ていて、私は納得していただけないのではという思いがいたします。

以上、意見及び要望を述べさせていただいて、諸議案に対して賛成いたします。